

製品名: CREG1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09382**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	CREG1 CREG UNQ727/PRO1409
別名	
遺伝子 ID	8804.0
SwissProt ID	O75629
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

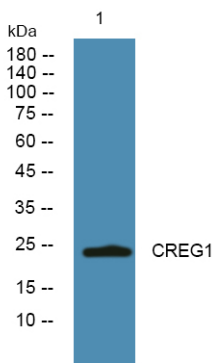
アデノウイルス E1A タンパク質は、遺伝子発現を活性化および抑制することで細胞増殖を促進し、分化を阻害する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、E1A による転写活性化および細胞形質転換に拮抗する。このタンパク質は E1A と限定的な配列相

同性を有し、in vitro において一般転写因子 TBP および腫瘍抑制因子 pRb の両方に結合する。この遺伝子は、細胞増殖および分化の転写制御に寄与する可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 細胞増殖および分化の転写制御に寄与する可能性がある。アデノウイルス E1A タンパク質による転写活性化および細胞形質転換に拮抗する。細胞増殖の転写制御活性には IGF2R との相互作用が必要である。、PTM: N-グリコシル化。、類似性: CREG ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体。IGF2R と相互作用する。相互作用はグリコシル化に依存する。、

研究分野

-

画像データ



U2OS 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、CREG1 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩